

第2回長崎県県庁舎跡地活用検討懇話会作業部会

日時 平成25年1月28日(月)

13:30~15:30

場所 長崎県タクシー会館4階会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 題 (案)

(1) 第3回懇話会を踏まえた検討整理について…………… **資料1**

【資料1-1】第3回懇話会議事録

【資料1-2】第3回懇話会でのご意見と対応方針

【資料1-3】用途・機能进行评估するための着眼点の修正案

(2) 少人数グループ別の意見交換の実施について…………… **資料2**

【資料2-1】少人数グループ別の意見交換の実施について

【資料2-2】今後のスケジュールについて

(3) アンケート上位項目に係る事務局整理案及び事例調査結果について…………… **資料3**

【資料3-1】アンケート上位の用途・機能に係る事務局整理案

【資料3-2】参考事例

(4) その他

3. 閉 会

県庁舎跡地活用検討懇話会作業部会委員名簿

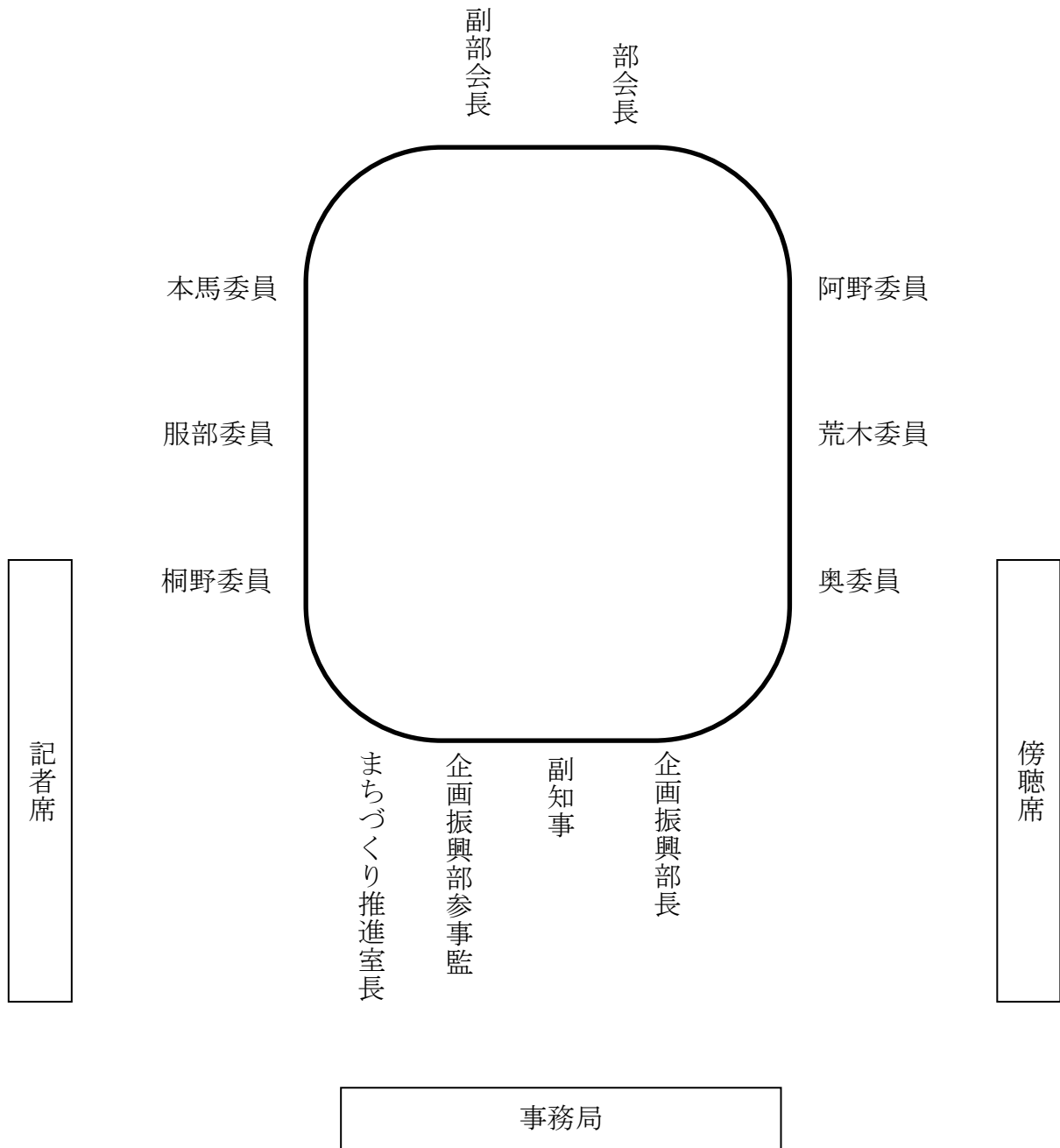
(50音順、敬称略)

氏 名	職 名 等	出欠
阿 野 史 子	NPO法人道守長崎理事長	○
荒 木 由 美	(社)長崎県建築士会女性委員会委員長	○
奥 真 美	首都大学東京教授	○
片 岡 力	まちづくりアドバイザー	○
菊 森 淳 文	(財)ながさき地域政策研究所常務理事	○
桐 野 耕 一	NPO法人長崎コンプラドール理事長	○
清 水 慎 一	立教大学特任教授	
服 部 敦	中部大学教授	○
林 一 馬	長崎総合科学大学教授	
本 馬 貞 夫	長崎学アドバイザー	○

第2回県庁舎跡地活用検討懇話会作業部会

配席図

平成25年1月28日(月) 13:30~15:30 長崎タクシー会館4階会議室



出入口

第3回懇話会(12/27)でのご意見と対応方針

資料1-2

○懇話会の中で対応するもの

No.	内 容	対応方針
1	着眼点の中の「象徴性」の中にアピール性とあるが、必ずしも象徴的であれば発信性が高いとは限らないので、象徴性と並列に「象徴性・発信性」としてはどうか。	別添資料1-3
2	「景観への配慮」には、環境への配慮も追加して「景観・環境への配慮」としてはどうか。	別添資料1-3
3	「公益性」の中の「特定の者に利益や不利益を及ぼすものではないか」という内容は、公平性・公正性の話であり、外した方がよい。	別添資料1-3
4	集客性があるからといって、企業が手を挙げて提案したものをつくるような場所ではないので、公益性の中の「特定の者に利益・不利益を及ぼすものではないか」という項目は残した方がよい。	別添資料1-3
5	「経済性」の中に経済波及効果が書かれているが、この「経済性」はイニシャルコストやランニングコストの話であり、混同される恐れがあるので削除してはどうか。	別添資料1-3
6	(市役所は、県民共有の財産ではないので理解できるが)なぜ図書館やコンベンションを検討対象から外さないといけないのか分からない。外さないといけない理由をはっきりと示して欲しい。別に議論しているから対象外ということではなくて、所管部局と調整を図っていくべきではないのか。	別途説明
7	7-4公園・広場について、防災広場や緊急避難場所としての要素も追加してほしい。	指摘のとおり事務局整理案を修正
8	委員の皆さんは皆言いたいことがあって、何か言おうと思って来ているが、この会議では意見がよいにくい。少人数のグループの分科会などの形で議論させてほしい。アンケートで投票した項目別に集まってもよいのでは。次の作業部会で進め方の話をしてほしい。	別添資料2-1

○ご意見として参考にするもの

No.	内 容	種 別
9	着眼点のどこにプライオリティを置くのかを考えた方がよい。	着眼点に関する意見
10	着眼点の重要項目5項目はすべて満たす必要があるのか。すべて満たすものはないのはいか。	着眼点に関する意見
11	この着眼点ありきで議論していると小さなものしか出てこずいいアイデアは生まれないのでは。もっと大きな視点が必要。長崎が弱いのは情報発信力だと思うので、情報発信力と象徴性を着眼点にしてはどうか。	着眼点に関する意見
12	回遊性という着眼点を提案した。単独で考えるのではなく、商店街や、歴史、交通などとつながって、まちづくりとして共存する跡地活用策を考えないといけない。	着眼点に関する意見
13	この場所にバスが乗り入れないにしても、コミュニティバス等と連携し、通りと通り、まちとまちをつなげていく、その中心になるような情報発信力のあるものが必要では。	着眼点に関する意見
14	長崎市の都市政策として、中心市街地にどの程度の交通が集中していいのか。そのことがまちの活性化に繋がっていくのか。観光バスや路線バスが中心市街地に集中していくと、街の価値が下がっていくのではと危惧している。	着眼点に関する意見
15	出島復元も進んでいることや、歴史的な位置付けがあること、街の中心的な場所にあることから、象徴性・歴史性を重視してほしい。	着眼点に関する意見
16	都市計画や回遊性、交通政策など関係するが、まち全体の土地利用の効率性を考える必要があり、その中でこの貴重な土地をどう活用していくかという視点を重要な要素として念頭に置くべきでは。エリアとエリアのつながり、市役所、港、駅前、まちなかの調和を考えながら進めていく必要がある。	着眼点に関する意見
17	公的な広場に加えて公共性のある建物を建ててはどうかという意見が多いと感じている。広場で関わる人が作り出す賑わいという視点も必要ではないか。	着眼点に係る意見
18	オープンスペースをつくり、将来に向けて良くなっていく余地を残すということも1つの考え方であり、その意味からは、「拡張性・可変性」という着眼点も考えられる。	着眼点に係る意見
19	1つのものに限定して作るという考えは捨てて、複合的なもので考えたほうがよい。	活用案に係る意見

No.	内 容	種 別
20	事務局整理案を見ると、江戸・幕末・くちというコンセプトが浮かんでくるが、その方向で決めてしまっているのか。	活用案に係る意見
21	広場があって、空き店舗が多い商店街が歩行者天国や市場をやるようなケースが増えている。そのようなソフト面で、市民がどんどん参加できるようなものになったらよいのではないか。	活用案に係る意見
22	あまり多くの機能を入れ込みすぎないで、広場をつくり、その中に市民が使いやすいホールができれば。最初から欲張りすぎないで、みんなが行き来できて和めるような場所になればと思う。	活用案に係る意見
23	広場は何もないところにそれだけ整備するものではない。歴史的にみれば宗教的な施設の前であったり、市場であったり、市役所前だったりする。広場だけつくっても人はこない。広場を使って活用をと言うけれども、長崎のまちにそれを活用できるぐらいアイデアがあれば廃れていないはず。それがいいから問題なのであって、だからこそ跡地の問題は必死になって最後の一手を失ってはいけない。	活用案に係る意見
24	周りの商店街が移転に反対しているわけで、それに対して応えないと行けない。最低でも県庁があったときと同程度の人が集まる場所にする必要がある。	活用案に係る意見
25	県庁跡地に図書館を建てるなら、集客力のない今の県立図書館ではない図書館を考えないといけない。今、世界的に図書館はどんな状況にあるか。ホールなどありとあらゆるものがコンプレックスしたような図書館になるべき。そういう議論をもっと深めないといけないのに、こんなスピードで議論しているのか。	県立図書館に関する意見
26	県の財政は10年先危機的状況にある。打つ手は限られており、今図書館の予算として用意しているものを違うところに使ってしまったら後戻りできない。だから図書館も一緒に考えるべきでないか。	財源、県立図書館に関する意見
27	ある程度県が財源を示した上で議論すべきではないか。図書館やコンベンションについても、それぞれ検討が進められているということだが、財政的に楽ではない中で、跡地に盛り込めるものは盛り込んでよいのではないか。	財源に係る意見

必要な用途・機能の検討

重要項目		(すべての項目において一定程度満足することが前提?)
1	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民共有の財産として誰もが利用できるものか ・ 特定の者に利益や不利益を及ぼすものでないか ・ 県が中心となって活用を図るに相応しいか
2	集客性・交流性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居住者だけでなく来訪者を含めて、人が行き来し、集い、交流する場であるか(土日だけでなく平日も、観光客だけでなく市民も集まるか)
3	象徴性・発信性	<ul style="list-style-type: none"> ・ このまちの核・拠点として象徴的なものか(シンボル性があるか) ・ このまちの魅力を内外に発信するものか(アピール性があるか) ・ 今後長きにわたり、この場所に相応しいものか
4	歴史性	<ul style="list-style-type: none"> ・ この場所の持つ歴史性(岬の教会、長崎奉行所、出島との関係、海軍伝習所など様々な歴史が積み重ねられてきた)に配慮しているか
5	周辺にある機能(予定含む)との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺にある機能(予定含む)と重複しないか、棲み分けは可能か ・ 特にこの場所に求められる機能であるか ・ 周辺の類似機能との協調でより魅力を発揮できるか

目標項目		(満たしていれば+αの評価)
6	特有性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他県にはない長崎特有のものか
7	国際性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長崎の国際性を踏まえたものか
8	波及効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内市内に対して何らかの二次的な効果をもたらすものか

実現可能性を検討

1	財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整備費、運営費は非現実的な額ではないか
2	経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 費用対効果(来客数等)はどうか ・ 周辺地域や県内への経済波及効果は見込めるか ・ 経済的に持続可能か
3	運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営体制は実現可能で、充実したものか ・ 持続可能な運営体制か

具体の配置・規模などを検討(検討の際に配慮すべき事項)

1	景観・環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺地域と景観的に調和するか ・ 環境にも配慮しているか
2	石垣の取扱	歴史ある石垣は残す方向で検討
3	第三別館の取扱	第三別館は保存・活用も視野に入れて検討
4	面積・地形	7m以上の高低差、広い土地でないことを認識
5	江戸町公園	江戸町公園の(跡地内での)機能確保を前提に、公園の一体的活用も検討可

少人数グループ別の意見交換の実施について

○目的

- ・ 第3回懇話会での意見（大人数で議論すると意見が出しにくいので少人数に分けて議論する機会を設けてほしい）を踏まえ、これまで懇話会で発言できなかったことを自由に発言していただき、議論を活発化させる。
- ・ 委員相互の意思疎通を図り、懇話会の議論の活性化につなげる。

○位置付け

懇話会の運営形態の1つとして、少人数グループ別に分割して開催（次頁参照）

○構成

- ・ 8～9名の委員から成るグループを3グループ設置。
- ・ グループ分けは、アンケート調査での回答内容やこれまでの発言内容等を踏まえて行う。

○公開・非公開

懇話会と同様に公開で開催し、傍聴も可とする。

○進め方

- ・ 模型や航空写真などを囲み、跡地のスケール感を意識しながら、望ましい活用案等について意見交換（テーマは特に設けない）
- ・ 事務局がグループに加わり、進行等を務める。（委員の思いを話してもらうための場とするため、委員には役割を設定しない）

○日程

- ・ 各グループ1回ずつ、別々の日に開催

Aグループ	2月12日（火）	13：30～15：30	（予定）
Bグループ	2月19日（火）	15：00～17：00	（予定）
Cグループ	3月 4日（月）	15：00～17：00	（予定）
- ・ 2回目以降も開催を継続するかどうかについては、1回目の状況や懇話会での議論を踏まえて検討

グループ別意見交換の位置付け

懇話会

(設置根拠: 要綱第1条)

【目的】

県庁舎の跡地において整備すべき具体的な用途・機能、その他必要な事項について知事に意見を述べる

(検討項目)

- ・優先的に検討すべき用途・機能について
- ・用途・機能を評価する際の着眼点について
- ・中間報告について
- ・活用案たたき台について
- ・実現可能性調査を行う複数の活用案について
- ・提言とりまとめについて

【構成】 委員26名(関係分野の有識者・地元関係者)



(要綱第8条)
懇話会の運営に関し
必要な事項は会長
が定める

→この規定に基づき
懇話会を分割開催

グループ別意見交換

(懇話会の運営形態の1つとして実施)

【目的】

- ・これまで懇話会で発言できなかったことを発言していただき、議論を活発化させる
- ・委員相互の意思疎通を図り、懇話会の議論の活性化につなげる

【構成】

8~9名から成るグループを3つ設置
(グループ分けはこれまでの発言内容等を踏まえて行う。)



作業部会

(設置根拠: 要綱第6条)

【目的】

上記について、具体的かつ専門的に検討を行う

【構成】 委員10名(関係分野の有識者)

← 専門的な検討が必要な場合

少人数グループ別意見交換 グループ分け案

Aグループ
阿野委員
奥 委員
桐野委員
小松委員
清水委員
田川委員
服部委員
原田委員
福田委員
村木委員

10名

2/12(火)

Bグループ
荒木委員
犬塚委員
片岡委員
菅原委員
朝長委員
馬場委員
林 委員
本馬委員
村木委員

9名

2/19(火)

Cグループ
岩橋委員
扇 委員
湍永委員
川添委員
菊森委員
竹本委員
本田委員
武藤委員
村木委員

9名

3/4(月)

県庁舎跡地活用検討懇話会のスケジュール

資料2-2

時期	懇話会	作業部会
24年度	<p>第1回懇話会 [7/27]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・懇話会会長・副会長の選任 ・これまでの経緯等について ・懇話会の進め方について ・自由討議 ・現地調査 	
	<p>第2回懇話会 (9/3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インバウンド対策の充実にかかる提言」について ・用途・機能の検討の進め方について 	<p>第1回作業部会 (11/12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先的に検討すべき用途・機能についての課題等の整理と実現可能性の検討(その1) メイン、サブの1~5
	<p>第3回懇話会 (12/27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先的に検討すべき用途・機能についての課題等の整理と実現可能性の検討(その1) メイン・サブの1~5 ・用途・機能を評価する際の着眼点について 	<p>第2回作業部会 (1/28)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先的に検討すべき用途・機能についての課題等の整理と実現可能性の検討(その2) メイン・サブの6~10 ・用途・機能を評価する際の着眼点について ・今後の検討の進め方について
	<p>グループ別意見交換 (2月中旬~3月中旬)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3グループに分かれ、望ましい活用策等についてフリーディスカッション 	
	<p>第4回懇話会 (3/19)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先的に検討すべき用途・機能についての課題等の整理と実現可能性の検討(その2) メイン・サブの6~10 ・用途・機能を評価する際の着眼点について ・これまでの議論の中間整理 	
25年度		<p>第3回作業部会 (4月予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用案たたき台(事務局orグループ別意見交換で作成)について ・用途・機能を評価する際の着眼点について
	<p>第5回懇話会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用案たたき台(事務局orグループ別意見交換で作成)について ・用途・機能を評価する際の着眼点について 	<p>第4回作業部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用案の懇話会修正案に対する「着眼点」に照らした評価の実施方法について
	<p>第6回懇話会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用案の懇話会修正案について「着眼点」に照らした評価のとりまとめ ・実現可能性調査を行う複数の活用案の決定 	<p>第5回作業部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実現可能性調査の結果報告 ・提言たたき台の作成
	<p>第7回懇話会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実現可能性調査の結果報告 ・提言たたき台に係る意見交換 	<p>第6回作業部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提言(案)の作成
	<p>第8回懇話会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提言のとりまとめ 	

跡地活用の検討スケジュール(予定)

平成24年度

平成25年度

懇話会開催予定

懇話会①

7/27

懇話会②

9/3

作業部会①

11/12

懇話会③

12/27

作業部会②

1/28

懇話会④

3/19

作業部会③

懇話会⑤

作業部会④

懇話会⑥

作業部会⑤

懇話会⑦

作業部会⑥

懇話会⑧

主な検討内容(予定)

<用途機能の掘り下げ>

検討すべき用途機能のアンケート調査で上位の項目から順番に、実現可能性を検討、課題等を整理

<評価の着眼点の検討>

用途機能を評価するための「着眼点」の検討、評価の実施

個々の用途機能の検討

中間整理

<組み合わせの検討>

用途・機能を組み合わせた複数の活用案の作成、評価の実施

<実現可能性の検討>

絞り込んだ活用案毎に

- 施設構成、配置
- 事業手法(PPP,PFI等)
- 運営主体
- 概算事業費、ランニングコスト試算
- 財源措置
- 経済波及効果 等を検討

<活用案の絞り込み>

左記を踏まえ活用案を評価

提言

用途機能を組み合わせた活用案の検討

アンケート上位の用途・機能に係る事務局整理案

◇今回の作業部会で議論いただく内容（案）

○各用途機能についての共通認識の確認

（例）歴史系の資料館・博物館のイメージとは

○仮にこの場所に整備するとした場合にどのようなものを想定するか、組み合わせを視野に入れながら以下について検討

- ・それはメイン機能なのか、サブ機能なのか
- ・メイン機能とした場合、サブ機能としてはどのようなものが望ましいか。
- ・中に入れる機能としてどのようなものが不可欠か。
- ・他県の事例等から取り入れるべき機能があるか
- ・どのような課題があるか

【1-1】歴史系の資料館・博物館（※1-2と統合）

○龍馬をはじめ、跡地の歴史や長崎を往来した人物、海外から入ってきた文化や技術の伝播などを体験しながら学べる施設を整備し、文献資料を集約して歴史研究の拠点とする。

代表事例）・鹿児島市維新ふるさと館（1-1）、江戸東京博物館（1-2）

利 点）・この場所の持つ歴史性を活かせる

課 題 点）・長崎歴史文化博物館とのすみ分け

【2-1】長崎奉行所西役所（復元）

○出島復元との関係性を重視する。

○岬の教会との併設も視野に入れる。

○周囲は歴史を感じられる公園とし、石垣を復元整備する。

○中身又は併設として、歴史資料やおくち資料などの展示のある資料館又は博物館、あるいは、長崎学の研究拠点や情報発信の拠点とする。

○展望施設を設け、江戸時代の海に囲まれた出島をCGで再現等を検討

代表事例）・箱館奉行所

利 点）・この場所の持つ歴史性を活かせる

・「出島」と一体となった活用により集客数が見込める

課 題 点）・長崎奉行所立山役所とのすみ分け

・絵図面からの復元にしかならない、海軍伝習所、医学伝習所は資料不足

【11-4】複合文化施設（音楽、演劇、美術、映像等）

○他の施設と演劇、ライブ、コンサート、練習室などを備えたホールを組合わせた新しいタイプの文化施設を整備

（他の施設例：図書館、ターミナル、世界遺産館、伝統芸能資料館、アンテナショップ）

代表事例） ・ Bunkamura

利 点） ・ 組み合わせにより多様な利用者を見込める

・ 複合化により開催日が分散し平日の利用も見込める

課 題 点） ・ 市内の他のホール等とのすみ分け

・ イベントがない時に閑散とするおそれ

【7-3】イベントスペース

○屋外又は屋内のイベントスペース（イベント広場）を整備する

○使用目的としては、くち、観光イベント、ミニコンサート、国内、海外との交流行事など

代表事例） ・ 広島市西新天地公共広場（アリスガーデン）

利 点） ・ イベントの内容次第では集客数が見込める

・ 今後の柔軟な対応や拡張性が見込める

課 題 点） ・ イベントがない時に閑散とするおそれ

・ 屋外の場合、周辺住宅・店舗等への騒音

【8-3】飲食店、カフェ、レストラン

○サブ機能としてのカフェ、レストラン

○話題となるレストランの誘致も検討

○食事体験ゾーンとして長崎の食文化を発信する施設も検討

代表事例） ・ ビストロサンチーム（松本市美術館）

利 点） ・ メイン施設の認知向上への寄与

・ 急坂の休憩地点として高齢者に利用いただける

課 題 点） ・ 話題づくりが必要

・ 地元飲食店等との競合

【12-2】県民交流センター

- 離島も含め、県民、市民が日常的に使用可能な集会所、会議室を整備。
- ボランティア活動や県民・市民の活動を支援する機能を持つ。

代表事例) ・御殿場市民交流センター ふじざくら
利 点) ・幅広い県民・市民の利用が見込まれる
課 題 点) ・市内の他施設とのすみ分けが必要

【11-1】コンサートホール（音楽）

- 音楽専用のホールを整備
- 規模的には小規模又は中規模程度。

代表事例) ・三原市芸術文化センター ポポロ
利 点) ・音楽専用ホールが必要との要請に応えられる
課 題 点) ・市内の他のホール等との棲み分けが必要

【4-2】体験型観光集客施設

- 復元施設の中を貸し衣装で巡る or
- キッズニアなど体験的要素をもった施設 or
- カジノ施設など娯楽的要素を持った施設

代表事例) ・キッズニア東京
利 点) ・キッズニアのような施設であれば一定の集客が見込める
課 題 点) ・カジノは法的規制をクリアする必要がある
・キッズニアは特定の民間事業となる（又はライセンス上の問題もある）

【4-3】世界遺産館

- 教会などキリスト教関連遺産や近代化遺産をアピールする施設として第三別館や複合施設の一構成要素として整備する。

代表事例) ・石見銀山世界遺産センター
利 点) ・サブ機能としては一定の集客が見込める
課 題 点) ・構成資産との距離

【5-1】ランドマークタワー・シンボルタワー

○出島をはじめ長崎のまちが一望でき、どこからでも見える、長崎のシンボルとなるものとして整備。

代表事例) ・東山スカイタワー

利 点) ・市中心部からの景色・夜景が楽しめる

課 題 点) ・周囲の景観への配慮が必要

【11-5】多目的ホール（中小コンベンション機能含む）

○500人規模の大会議室と200人規模の複数の会議室など比較的小規模の施設を組み合わせた多目的ホールを整備。

○他の文化施設との併設も検討。

代表事例) ・福井県国際交流会館

利 点) ・ホール機能の不足に 대응することができる

課 題 点) ・イベントがない時に閑散とするおそれ

【13-5】国際的な機関

○国際的な研究機関、国際機関、世界的機関（例：ユネスコ）

代表事例) なし

利 点) ・コンベンションの誘致等の可能性も生じる

課 題 点) ・現在募集している国際機関はない。（外務省）
・誘致が困難

【14-1】大学・学校

○大学や研究機関など産官学連携施設 or

○サテライトキャンパス or

○ベンチャー企業の育成機関




代表事例) ・新潟大学 新潟駅南キャンパス「ときめいと」

利 点) ・一定の賑わいが生じる

・伝習所のあった場所としてマッチする

課 題 点) ・県内他施設とのすみ分け

用途・機能コード		1-1 (旧1-1と1-2を統合)			2-1			11-4					
用途・機能		歴史系の資料館・博物館			長崎奉行所西役所(復元)			複合文化施設(音楽、演劇、美術、映像等)					
事例NO		1			2			3			4		
施設名		鹿児島市維新ふるさと館			江戸東京博物館			箱館奉行所			Bunkamura		
施設写真 [イメージ]													
所有者		鹿児島市			東京都			函館市			株式会社 東急文化村		
所在地		鹿児島県鹿児島市加治屋町23番1号			東京都墨田区横網一丁目4番1号			函館市五稜郭町44番3号			東京都渋谷区道玄坂2-24-1		
機能分類 (メイン・サブ区分)		メイン			メイン			メイン			メイン		
施設概要 (施設内容・特徴等)		<ul style="list-style-type: none"> ●甲突川沿いにある明治維新のすべてを学べるハイテクギャラリー ●地下ホールでは、音や光やロボットなど多彩な演出によって、明治維新を立体的に体感できる。 ●西郷隆盛や大久保利通など、近代日本を築いた先人たちの業績や鹿児島の歴史をわかりやすく楽しく学べる。 			<ul style="list-style-type: none"> ●江戸東京400年の歴史と文化を展示する博物館 ●常設展示は「江戸ゾーン」「東京ゾーン」「第2企画展示室」で構成され、浮世絵や絵巻、着物、古地図など約2,500点のほか大型模型など約50点あまりが展示 ●江戸東京学の研究拠点として館蔵品を中心とした江戸・東京の歴史・文化・生活に関する調査研究も行っている ●研究成果を展示等へ活用しているほか、書籍の刊行、ミュージアムセミナー「えどはくカルチャー」、シンポジウム等を定期的に開催 			<ul style="list-style-type: none"> ●古写真に写っている建物正面を中心とした範囲で、建物全体の1/3となる1,000平方メートルを復元 ●歴史発見ゾーン、映像シアター、建築復元ゾーンなどで構成され、箱館奉行所があった時代を体感できるなど、視覚的に工夫された資料等で情報を提供 ●奉行所の外部には、遺構や説明板など五稜郭内全体に思いを馳せることができる空間として整備 			<ul style="list-style-type: none"> ●1989年に誕生した日本初の大型の複合文化施設 ●コンサートホール(音楽)、劇場(演劇)、美術館(美術)、映画館(映像)の各施設をはじめ、カフェやアート関連ショップなどからなるクリエイティブな空間は、オープン以来、新しい文化の発信基地として常に注目を集めている ●さまざまな文化・芸術に触れることができるだけでなく、ゆっくりとした時間を過せる、渋谷の人気スポットとして、年間280万人の方が訪れている 		
地理的特徴 (立地条件・地形条件等)		●JR鹿児島中央駅から徒歩8分			●JR総武線 両国駅西口下車 徒歩3分			<ul style="list-style-type: none"> ●五稜郭公園内に位置 ●周辺には五稜郭のほか、道立美術館、芸術ホールなどがある ●函館駅から車で約15分 			●JR山手線 渋谷駅八公口より徒歩7分		
敷地概要		敷地面積		2,312.61㎡		29,293㎡		1,142.09㎡		13,661㎡			
		都市計画関連		近隣商業地域(建ぺい率80%、容積率400%)		商業地域(建ぺい率80%、容積率400%)		第2種中高層住居専用地域(建ぺい率60%、容積率200%)		商業地域(建ぺい率80%、容積率700%)			
建物概要		建築面積		1,490.80㎡		17,562㎡		1033.38㎡		6,269㎡			
		延べ床面積		2,513.99㎡		48,512.95㎡		979.40㎡		33,023㎡			
		建物規模		地下1階・地上1階建		地下1階・地上7階建(最高高さ62.2m)		地上1階建(一部5層)		地下2階・地上7階建			
整備・運営概要		整備費		29.6億円		-		18億2,805万円		-			
		事業手法		鹿児島市が整備		-		函館市が整備		-			
		運営形態		指定管理者(財)鹿児島観光コンベンション協会が管理		指定管理者(財)東京都歴史文化財団、鹿島建物総合管理(株)、アサヒビール(株)の共同事業体が運営		指定管理者(名美興業(株))が運営		企業が直接運営			
		施設利用料		大人:300円、小人:150円		-		大人:500円		[大ホール] 平日:1,522,500円~、休日:1,680,000円~(全日)			
		利用客数		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
				173,855人	149,773人	207,386人	-	-	-	-	-	-	
		収支状況		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
		収入		38,423千円	32,371千円	46,644千円	-	-	-	44,176千円	62,015千円	-	
		支出		86,585千円	87,361千円	113,410千円	-	-	-	50,005千円	61,613千円	-	
成功要因・課題		<ul style="list-style-type: none"> ●幕末の薩摩と明治維新について多彩な演出で分かりやすく紹介している ●駐車スペースが不足している 			-			<ul style="list-style-type: none"> ●全国的に知名度が高い特別史跡五稜郭跡内の復元建物 ●厳寒期(1~3月)の防寒対策 			-		
その他特記事項		<ul style="list-style-type: none"> ●平成6年4月29日開館 ●駐車場あり:24台 ●平成18年3月、平成21年2月にそれぞれリニューアル ●http://www.ishinurusatokan.info/access.html ●TEL:099-239-7700 			<ul style="list-style-type: none"> ●平成5年3月28日開館 ●http://www.edo-tokyo-museum.or.jp/about/facility/index.html ●TEL:03-3626-9974 			<ul style="list-style-type: none"> ●平成22年7月29日オープン ●http://www.hakodate-bugyosho.jp/ ●TEL:0138-21-3456 (函館市教育委員会 生涯学習部文化財課) 			<ul style="list-style-type: none"> ●平成元年9月3日開館 ●平成23年施設改修工事 ●http://www.bunkamura.co.jp/ ●TEL:03-3477-9111 		

用途・機能コード		7-3			用途・機能コード		8-3			用途・機能コード		12-2					
用途・機能		イベントスペース			用途・機能		飲食店、カフェ、レストラン			用途・機能		県民交流センター					
事例NO		5			事例NO		6			事例NO		7					
施設名		広島市西新天地公共広場（アリスガーデン）			施設名		ビストロサンチーム（松本市美術館）			施設名		御殿場市民交流センター ふじざくら					
施設写真 [イメージ]					施設写真 [イメージ]					施設写真 [イメージ]							
所有者		広島市			所有者		松本市			所有者		御殿場市					
所在地		広島県広島市中区新天地8番			所在地		長野県松本市中央4-2-22			所在地		静岡県御殿場市萩原988番地の1					
機能分類 (メイン・サブ区分)		サブ			機能分類 (メイン・サブ区分)		サブ			機能分類 (メイン・サブ区分)		メイン					
施設概要 (施設内容・特徴等)		<ul style="list-style-type: none"> ●広島市の都心部に位置する西新天地公共広場「アリスガーデン」は、全国的に知名度のある観光スポット・「お好み村」やファッションビルなどに囲まれ、「都会のおもちゃ箱」のイメージで整備された約1,400平方メートルの広場 ●広島市の都心部における魅力と賑わいを考える際の、重要な拠点 			施設概要 (施設内容・特徴等)		<ul style="list-style-type: none"> ●松本市美術館内にあるレストラン ●白と黒との格調高い蔵づくりを生かしたレストラン ●信州産の天然ハーブと旬の食材を使ったカジュアルフレンチ 			施設概要 (施設内容・特徴等)		<ul style="list-style-type: none"> ●平成14年度に策定された「健やか生きがい基本計画」、「御殿場市まちづくり基本構想」をもとに市民のだれもが利用しやすい新たな交流拠点、「世代交流多目的施設」として位置づけ ●市民の総合交流、市民活動の推進及び児童福祉、老人福祉その他社会福祉の増進を図るために設置 ●それぞれ独立した施設であった社会福祉施設・老人福祉センター・児童館・ボランティアビュローが老朽化したため、それらを1ヶ所に集めた複合施設。乳幼児から高齢者まであらゆる世代が利用できる 					
地理的特徴 (立地条件・地形条件等)		<ul style="list-style-type: none"> ●JR広島駅より車で約10分 ●市内電車「八丁堀」電停より徒歩5分 ●山陽自動車道・広島ICより車で約25分 ●広島空港より車で約60分 			地理的特徴 (立地条件・地形条件等)		●松本駅から徒歩約12分、松本ICから車で15分			地理的特徴 (立地条件・地形条件等)		<ul style="list-style-type: none"> ●御殿場駅からバスで約7分 ●周辺には御殿場市役所 玉穂支所がある 					
敷地概要	敷地面積	1,000㎡（ステージあり）／タイル			敷地概要	都市計画関連	近隣商業地域（建ぺい率80%、容積率300%）			敷地概要	敷地面積	18,042.92㎡					
	都市計画関連	商業地域（建ぺい率80%、容積率600%）				建築面積	3,495.62㎡				都市計画関連	市街化調整区域（建ぺい率60%、容積率200%）					
建物概要	建築面積	-			建物概要	建物規模	地上3階建（一部4階建）			建物概要	建築面積	2,626.46㎡					
	延べ床面積	-				店舗面積	93.45㎡				延べ床面積	6,231.09㎡					
	建物規模	-				店舗使用箇所	別棟1階（194.92㎡）のうち一部を使用				建物規模	地下1階・地上2階建					
整備・運営概要	整備費	約5億6,000万円			整備・運営概要	店舗収容客数	22席			整備・運営概要	整備費	24億5,965万円					
	事業手法	広島市が整備				整備費	約700万円				事業手法	御殿場市が整備					
	運営形態	指定管理者（株式会社エムケイ興産）が運営				事業手法	松本市が整備				運営形態	指定管理者（(社)御殿場市社会福祉協議会グループ）が運営					
	施設利用料	一日：50～15,750円/㎡（活用手段によって異なる）				内装整備手法	店舗が整備（客席テーブルセット、カウンターは無償貸与）				施設利用料	[交流ホール] 16,000円（全日）					
	利用客数	平成21年度		平成22年度		平成23年度	内装整備費	-			利用客数	平成21年度	平成22年度	平成23年度			
		112件		154件		159件	選定方法	公募型プロポーザルで決定				186,348人	209,205人	223,636人			
	収支状況	平成21年度		平成22年度		平成23年度	契約内容	施設使用料：754,360円（年間）、電気料・ガス料（月請求）			収支状況	平成21年度	平成22年度	平成23年度			
		収入		8,745千円		9,535千円	9,324千円	店舗利用客数	平成21年度			平成22年度	平成23年度	収入	97,475千円	115,371千円	115,041千円
		支出		8,745千円		7,618千円	7,703千円		149,614人			164,261人	264,915人	支出	90,474千円	112,180千円	107,814千円
	成功要因・課題		<ul style="list-style-type: none"> ●都市における市民相互の交流及び魅力ある空間の形成を図るために設置したが、ほぼ毎週土・日曜日にはイベントが開催されており、目的は達成できていると考えている ●以前、祭礼時等に暴走族の集会が行われ社会問題となっていた。現在はこの問題は終息傾向にあるが、現在も祭礼時に本市職員等が当該広場において関係課と連携し監視業務を行っている 			成功要因・課題		<ul style="list-style-type: none"> ●展示室での鑑賞だけでなく、鑑賞の余韻を楽しむ場、休憩の場、あるいは感動を人と語り合う場として好評を得ている ●レストラン運営の苦情が寄せられる場合がある ●展覧会などに併せて特別メニューの取扱いなどの協力体制づくり 			成功要因・課題		<ul style="list-style-type: none"> ●指定管理者の多彩な発想による自主事業が好評であり、管理運営面においても民間企業のノウハウをおおいに発揮し、利用者のニーズに合わせた満足度の高いものとなっている ●市内中心部より外れている為、交通の便が悪い（市内定期バスに1日4往復、市民交流センター入口に停車してもらい、御殿場駅との交通手段としておりようしてもらっている。この利用者には補助券を発行しており、大人100円・子供及び障がい者は無料で利用できる。） 				
その他特記事項		<ul style="list-style-type: none"> ●平成6年4月1日供用開始 ●駐車場有り：200台 ●http://www.chushinren.jp/alice/map.htm ●TEL：082-246-8534 			その他特記事項		<ul style="list-style-type: none"> ●平成14年4月21日開館 ●平成19年4月オープン（2店舗目） ●http://www.city.matsumoto.nagano.jp/artmuse/p7/p7.html/restaurant.html ●TEL：0263-39-7400（松本市美術館） ※店舗利用客数は美術館利用客数 			その他特記事項		<ul style="list-style-type: none"> ●平成20年10月1日オープン ●駐車場あり：来客用153台（内身障者用6台） ●http://gotemba-skc.jp/modules/outline/index.html ●TEL：0550-82-4136（御殿場市役所 健康福祉部） 					

用途・機能コード	11-1	4-2	4-3	5-1									
用途・機能	コンサートホール（音楽）	体験型観光集客施設	世界遺産センター	ランドマークタワー、シンボルタワー									
事例NO	8	9	10	11									
施設名	三原市芸術文化センター ポポロ	キッズニア東京	石見銀山世界遺産センター	東山スカイタワー									
施設写真 [イメージ]													
所有者	三原市	株式会社キッズシティジャパン	太田市	名古屋市									
所在地	広島県三原市宮浦二丁目1番1号	東京都江東区豊洲2-4-9 アーバンドック ららぽーと豊洲 ノースポート3階33200	島根県大田市大森町イ1597番地3	名古屋市千種区田代町瓶杓1-8									
機能分類 (メイン・サブ区分)	メイン	サブ	メイン	メイン									
施設概要 (施設内容・特徴等)	<ul style="list-style-type: none"> ●市民にすばらしい芸術文化を提供し、感動空間・時間を体験・共有すると共に、それぞれ自身が新たな表現の可能性にチャレンジする場 ●ホールは音響効果に優れた シューボックス（直方体）型と客席から舞台を見やすい囲み型の融合により、本格的な芸術空間を実現 ●愛称ポポロは市民公募により名づけられた 	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども達が好きなお仕事や習い事、サービスなどを体験し、楽しみながら社会の仕組みを学ぶことができる「子どもが主役の街」 ●子ども達が自分で考えて行動することを重視しているため、保護者は同伴者として入場はできるが、子ども達と一緒に体験することはできない 	<ul style="list-style-type: none"> ●石見銀山世界遺産センターは、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」のエントランス（入口）として、遺産のガイダンス機能を担っている ●実物の歴史資料で構成される博物館や資料館とは性格が異なり、模型、映像、レプリカ、再現品を中心に構成 ●埋蔵文化財センターとしての機能を有しており、発掘調査により出土した遺物の展示も行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ●地上134m（タワーは80mの丘の上にあるため、標高は214m） ●名古屋市制100周年を記念して、1989年に建立 ●展望室は地上100m（標高180m）にあり、JRセントラルタワーズ、名古屋城、名古屋テレビ塔、ナゴヤドームなど市内を一望できるほか、天気がよければ、遠くに御嶽山や鈴鹿山脈の山並みを眺めることができる ●周りに高い建物が無いので、とても素晴らしい夜景が眺められ、2004年7月「日本夜景遺産」に認定、国内有数の夜景スポットとして有名である 									
地理的特徴 (立地条件・地形条件等)	<ul style="list-style-type: none"> ●JR三原駅から車で約5分 ●JR三原駅から徒歩約20分 ●三原久井ICから車で約25分 ●本郷ICから車で約30分 	<ul style="list-style-type: none"> ●東京メトロ有楽町線「豊洲」駅の最寄出口「2番」より徒歩8分 ●ゆりかもめ「豊洲」駅より徒歩8分 ●ららぽーと豊洲内 	<ul style="list-style-type: none"> ●JR大田市駅よりバスで約40分 	<ul style="list-style-type: none"> ●地下鉄・東山線「星ヶ丘駅」より徒歩約15分 ●東名高速・名古屋ICから車で約15分 ●東山動植物園に併設 									
敷地概要	敷地面積	39,553.68㎡	約6,000㎡	21,080㎡	96.61㎡								
	都市計画関連	第1種住居地域（建ぺい率60%、容積率200%）	工業地域（建ぺい率60%、容積率200%）	無指定区域（建ぺい率70%、容積率200%）	第2種住居地域（建ぺい率60%、容積率200%）								
建物概要	建築面積	4,054.03㎡	—	4,100㎡	1,296.51㎡								
	延べ床面積	7,421.58㎡	—	2106.47㎡	2,929.44㎡								
	建物規模	地下1階・地上2階建	—	地上1階建（一部2階建）	地上7階建								
整備・運営概要	整備費	49億1,274万円	25億	2億4,676万円（建設費）	27億円								
	事業手法	三原市が整備	—	大田市が整備	名古屋市が整備								
	運営形態	指定管理者（三原まちづくり美術文化センター共同事業体）が運営	—	指定管理者（石見交通株式会社）が管理（平成23年度～）	指定管理者（サンエイ株式会社）が管理								
	施設利用料	[ホール] 90,600円（全日）			[一般] 中学生以下：2,900円～4,900円、大人（16歳～）：1,900円、シニア（60歳～）：1,000円	大人：300円、小中学生：150円	大人：300円						
	利用客数	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		77,784人	80,072人	84,743人	—	—	—	175,278人	130,280人	130,800人	305,628人	299,006人	273,541人
	収支状況	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
収入		203,761千円	196,443千円	191,727千円	—	—	—	43,479千円	46,861千円	89,650千円	—	—	—
支出	200,897千円	195,107千円	191,522千円	—	—	—	43,479千円	46,861千円	81,015千円	—	—	—	
成功要因・課題	<ul style="list-style-type: none"> ●指定管理者が専門性を活かし、多彩な鑑賞事業や、招へいが難しいアーティストを呼んでいる ●指定管理者が替わった際の文化事業の継続性や人材教育が課題 ●施設の整備及び維持管理が必要 ●本格的なオペラ、ミュージカルなどの上演では、若干舞台機構が不足している ●客席数が1,209席なので2,000席クラスの公演の誘致が難しい場合がある 	—	<ul style="list-style-type: none"> ●1日の観光見学でも石見銀山の全体像を体感することは実質不可能であるため、何度も石見銀山を訪れていただけるような遺跡全体の概要説明を行っている ●発掘調査を中心とした調査研究成果のタイムリーなお知らせ、市県の専門職による夜学と外部研究者を招いた公開講座の定例開催、銀山の製錬工程などの体験メニューの開発とイベントを開催 ●ホームページを積極的に利用し、これらのイベントの開催案内や募集、実施報告をお知らせ 	<ul style="list-style-type: none"> ●施設最上階レストラン運営及びイベント企画会社との連携体制が整っている ●隣接する動植物園の来館者数、または天候による来館者数への影響を減らすよう改善していきたい。 ●設備の老朽化の更新 									
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●平成19年10月14日開館 ●駐車場あり ●建物はアコースティックな空間設計に特徴がある横文彦氏の設計でBCS賞、公共建築賞優秀賞を受賞しており、ランドマーク的存在 ●http://www.mihara-popolo.com/top.html ●TEL：0848-81-0886 	<ul style="list-style-type: none"> ●駐車場あり：2,200台（ららぽーと豊洲駐車場） ●平成18年10月5日 ●http://www.kidzania.jp/tokyo/ ●TEL：0570-06-4646 	<ul style="list-style-type: none"> ●平成20年10月20日開館 ●駐車場あり：普通車（383）、身障者用（4台）、待機バス（13台） ●http://ginzan.city.ohda.lg.jp/ ●TEL：0854-89-0183 	<ul style="list-style-type: none"> ●平成元年7月11日オープン ●駐車場あり：282台 ●http://www.higashiyamaskytower.jp/access.html ●TEL：052-781-5586 									

用途・機能コード		11-5		用途・機能コード		14-1			
用途・機能		多目的ホール（中小コンパニオン機能含む）		用途・機能		大学・学校			
事例NO		12		事例NO		13			
施設名		福井県国際交流会館		施設名		新潟大学 新潟駅南キャンパス「ときめいと」			
施設写真 [イメージ]				施設写真 [イメージ]					
所有者		福井県		所有者		国立大学法人新潟大学			
所在地		メイン		所在地		新潟県新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラウカ1・2階			
機能分類 (メイン・サブ区分)		福井県福井市宝永3丁目1-1		機能分類 (メイン・サブ区分)		サブ			
施設概要 (施設内容・特徴等)		<ul style="list-style-type: none"> ●福井県の国際交流活動の拠点として、多くの国際交流事業を行っている ●旅券（パスポート）の交付、多目的ホールや会議室の貸し出し等を行っており、県民の皆様の国際性豊かな地域社会づくりに貢献 		施設概要 (施設内容・特徴等)		<ul style="list-style-type: none"> ●地域社会への知的貢献を行う拠点として設置 ●大小の講義室、会議室の他、展示イベント等に使用できる多目的スペースを用意。講義室は、スライディングウォールで仕切ることができ、仕切りを外した場合、最大110名の利用が可能。それぞれの講義室には大型スクリーン、プロジェクター等のAV機器が用意され、講義のほか、講演会やセミナーにも利用可 ●利用者は、大学関係者に限らず、どなたでも使用することが可能 			
地理的特徴 (立地条件・地形条件等)		<ul style="list-style-type: none"> ●JR福井駅から徒歩約15分 ●JR福井駅から車で約5分 ●福井ICまたは福井北ICから車で約20分 		地理的特徴 (立地条件・地形条件等)		●新潟駅より徒歩3分			
敷地概要	敷地面積	4,452㎡		敷地概要	敷地面積	4,631.68㎡			
	都市計画関連	近隣商業地域（建ぺい率80%、容積率200%）			都市計画関連	商業地域（建ぺい率80%、容積率600%）			
建物概要	建築面積	2,081㎡		建物概要	建築面積	-			
	延べ床面積	6,449㎡			延べ床面積	30,812.91㎡			
	建物規模	地下1階・地上3階建			該当部面積	612.651㎡			
整備・運営概要	整備費	約50億円		整備・運営概要	建物規模	地下2階・地上12階建			
	事業手法	福井県が整備			施設規模	2階の一部を使用			
	運営形態	指定管理者（福井県国際交流会館指定管理者）が管理			整備費	約2,200万円			
	施設利用料	[多目的ホール] 平日：68,700円～、休日：75,800円～（入場料無料/全日）			設置者	国立大学法人新潟大学			
	利用客数	平成21年度	平成22年度		平成23年度	開設の経緯	他の建物より移転		
		194,677人	217,660人		194,816人	施設利用料	22,000千円/610㎡		
	収支状況	平成21年度	平成22年度		平成23年度	利用客数	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		収入 210,255千円	210,163千円		205,826千円		約10,000人	約28,000人	約31,000人
支出	204,388千円	205,709千円	203,262千円	事業活動費	平成23年度	約10,000千円			
成功要因・課題		<ul style="list-style-type: none"> ●駐車場不足 ●増加する修繕への対策 ●時期（平成26年度～）指定管理者公募への対応 		成功要因・課題		<ul style="list-style-type: none"> ●駅直結であり利便性が良い ●独自の駐車スペースがない 			
その他特記事項		<ul style="list-style-type: none"> ●平成8年10月5日開館 ●駐車場有り：2箇所（計54台） ●http://www.f-i-a.or.jp/ja/plaza/ ●TEL：0776-28-8800 		その他特記事項		<ul style="list-style-type: none"> ●http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/index.html ●TEL：025-248-8141 			

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【委員別に整理】

メイン機能 サブ機能

		県の観光・歴史文化の情報拠点	バスセンター、バスターミナル	行政窓口	駐車場、地下駐車場	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)
1	阿野委員	バスセンターターミナル施設の中に駐車場等他の施設を併設する。						
2	荒木委員	歴史を含め、観光情報等を発信できる観光拠点施設を計画。その施設の中には展望スペースや駐車施設を備える。また石積等を残したり、県庁跡地であることや歴史ある場所であることがわかるような公園とし、観光スポットとする。	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	駐車場、地下駐車場	県民交流センター
3	犬塚委員	A:観光歴史文化の情報拠点には広い駐車場で人々を呼び込む。	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場				
		B:長崎奉行所西役所をメインとして、岬の教会の復元と歴史系の資料館、博物館等の建立。	長崎奉行所西役所(復元)	歴史系の資料館・博物館	岬の教会(復元)			
		C:公園、広場を中心にして世界遺産館ほか歴史館等と広大な駐車場。	公園・広場	世界遺産館	駐車場、地下駐車場			
		-	防災センター、防災広場・緊急避難所					
4	岩橋委員	考え方:人が日中利用できる、したくなる集積であること。現在ある施設・コンテンツと重複しないこと(歴史文化博物館、ブリックホール、県立美術館、宿泊施設)。新たな名所化(展望機能)。建物の規模にもよるが、古くなった学校の移転や専門学校(料理教室レベルでも可)などの誘致なども併設。交通の要(路電、バス、車からの徒歩)としての整備不可欠。メリハリの効いた集積(多種コンテンツではなく絞り込み)。歴史復元も程度あり。できれば歴史を活かしたい。導線確保が優先。	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	ランドマークタワー、シンボルタワー	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	くんち広場、出し物展示場	飲食店、カフェ、レストラン	
			駐車場、地下駐車場	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	バスセンター、バスターミナル	大学・学校	
7	片岡委員	[基本]ながさき交流の歩み 歴史から未来へ(100年後の将来像も) ①近代までの人物往来 ②モノ、事始めの伝播 ③ながさきの将来像、姿 [空間]展望と広場 ①ながさきの歴史文化を一望するシンボルタワー ②広場(交流屋内外)の基本構成[流動]「歩く」(さるく、バリアフリーを含め) ①施設内・外 ②出島との動線(一体化) ③江戸町、築町の歴史・文化のまちなみづくり(来訪者と地元) [県警本部]・駐車場(新幹線駅との中継)・世界遺産館等の集客施設との複合・跡地との動線(地下、地上、空中)	長崎県の代表的な歴史人物の群像	埋蔵文化財展示施設	長崎奉行所西役所(復元)	岬の教会(復元)		
			県の観光・歴史文化の情報拠点	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	離島の魅力を伝える施設	コトハジメ館		
			ランドマークタワー、シンボルタワー	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)				
10	菊森委員	“総合観光情報拠点・世界遺産館・多目的ホール(中小コンベンション・研修等に使えるもの)を基礎として、賑わいを形成するための、交通・駐車場機能、物販・カフェレストラン機能を付加する。コンセプトは、過去から未来につながる交流の長崎県の形成。ワンストップで観光情報を得られるセンター。”	県の観光・歴史文化の情報拠点	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	駐車場、地下駐車場			
			世界遺産館	くんち広場、出し物展示場	駐車場、地下駐車場	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)		
		多目的ホール(中小コンベンション機能含む)	イベントスペース	駐車場、地下駐車場	飲食店、カフェ、レストラン	人材育成施設		

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【委員別に整理】

メイン機能 サブ機能

14	菅原委員	出島を中心とした他県にない史跡・文化・祭りで「街の活性化」を図るとともに長崎県全体の交流・観光のハブとなるようバスセンター、地下駐車場を整備、防災広場としても利用する。	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)				
			歴史系の資料館・博物館						
			駐車場、地下駐車場	バスセンター、バスターミナル					
			防災センター、防災広場・緊急避難所	くんち広場、出し物展示場	行政窓口				
16	竹本委員		長崎奉行所西役所(復元)	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	くんち広場、出し物展示場	イベントスペース	駐車場、地下駐車場	
			ランドマークタワー、シンボルタワー	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	駐車場、地下駐車場				
18	服部委員	歴史文化の研究・情報発信拠点として恒常的な利用者が見込まれる施設(県立図書館を含む)を核に、県民の文化芸術活動を支援する交流施設、国際的な研究機関を併設した施設をメインにする。1階部分は、観光のゲートウェイとしての機能を持ち、様々な交通との結節機能も確保する。また、産官学の連携による創造的な活動を支援するインキュベーション的な施設(できれば、中央政府なども巻き込んだフューチャーセンター的な施設)と、その情報発信やマーケティングなどのアンテナ的な機能を持つ物販・飲食施設を併置する。歴史性と都市核としての重要性を担いながらも、現代の経済社会で機能を発揮する施設として検討されることを期待する。	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	県民交流センター	国際的な機関				
			インキュベーション(起業支援)施設	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)					
			観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	バスセンター、バスターミナル					
19	馬場委員	出島復元と一体化した整備が望ましい。高層ビルや中心市街地の混雑を呼び込むようなバスセンターの設置は望ましくない。当面は景観を大切にしながら将来の再開発の余地を残す。	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	歴史公園、史跡公園	駐車場、地下駐車場	石垣復元	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	飲食店、カフェ、レストラン
23	福田委員	“劇場とくんち出し物展示場が一体となった文化施設。県民が自主活動可能な練習場もあり、創造空間になるのがのぞましいです。展望機能や地下駐車場も整備し、県立図書館を含んでも良いと思います。(劇場は客席数1200人程度の中ホールと200人程度の小ホールを備える)”	くんち広場、出し物展示場	劇場(演劇)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	駐車場、地下駐車場	青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)		
25	本馬委員	“①造り込みすぎないようにすること(将来の変化・ニーズに対応するため、余地を緑地として残しておく) ②1-2、2-6は当然3-1に含まれる ③市公会堂がどうなるかで、ホール機能の状況は変わってくる ④4-1はくんちに特化し、傘鉾・シャギリも含めた体験施設を併設する ⑤運営主体の自由度を確保すること ⑥「観光」に分類されているが、実際は市民・県民交流機能を持つ。分類項目に注意すべき”	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史をテーマとした復元(西役所等)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)			
			バスセンター、バスターミナル	駐車場、地下駐車場					
			伝統芸能資料館、伝統工芸館	くんち広場、出し物展示場	体験型観光集客施設				

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【委員別に整理】

メイン機能 サブ機能

26	村木委員	全体は大学のキャンパスのイメージ。緑の多い空間に、観光・物産機能を有する複合型バスターミナル(路線、観光、市内周回バス)、音楽・演劇の小ホール、リハ室、練習室を備えたシアターコンプレックス、長崎の伝統芸能を展示・実演できる伝統芸能資料館を配置する。アクセスはバスをメインとする公共交通を最優先とする。建物のデザインは、周辺の石垣、第三別館、出島との一体性を確保するよう配慮する。	複合文化施設(音楽、演劇、美術、映像等)	コンサートホール(音楽)	劇場(演劇)	青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)
			バスセンター、バスターミナル	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)
			伝統芸能資料館、伝統工芸館	くんち広場、出し物展示場		

<参考 組合せではないご意見 ※各用途・機能は並列の扱い>

5	扇委員	くんち広場、出し物展示場	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	バスセンター、バスターミナル	伝統芸能資料館、伝統工芸館	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	ホテル、高級ホテル	コトハジメ館
6	奥委員	-									
8	湯永委員	くんち広場、出し物展示場	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	朝市、夜市	国際的な機関			
9	川添委員	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	伝統芸能資料館、伝統工芸館	大学・学校	高齢者・子供関係施設	企業誘致・オフィス					
11	桐野委員	くんち広場、出し物展示場	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	バスセンター、バスターミナル	イベントスペース	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	コンサートホール(音楽)	体験型観光集客施設	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	歴史をテーマにした復元(西役所等)	オペラハウス
12	小松委員	くんち広場、出し物展示場	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	バスセンター、バスターミナル	イベントスペース	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	公園・広場	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	歴史公園、史跡公園
13	清水委員	くんち広場、出し物展示場	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場	バスセンター、バスターミナル	イベントスペース	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	公園・広場	朝市、夜市	歴史公園、史跡公園	県民交流センター
15	田川委員	くんち広場、出し物展示場	県の観光・歴史文化の情報拠点	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	バスセンター、バスターミナル	伝統芸能資料館、伝統工芸館	公園・広場	コンサートホール(音楽)	飲食店、カフェ、レストラン	美術と文化の発信拠点	
17	朝長委員	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場	図書館	長崎県の代表的な歴史人物の群像	長崎奉行所西役所(復元)					
20	林委員	公園・広場	複合文化施設(音楽、演劇、美術、映像等)	飲食店、カフェ、レストラン	図書館	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)	公文書館、県政資料館	石垣復元	第三別館復元	世界遺産館	
21	原口委員	くんち広場、出し物展示場	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	バスセンター、バスターミナル	イベントスペース	伝統芸能資料館、伝統工芸館	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	体験型観光集客施設	歴史系の資料館・博物館
22	原田委員	くんち広場、出し物展示場	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	バスセンター、バスターミナル	イベントスペース	公園・広場	歴史公園、史跡公園	コンサートホール(音楽)	
24	本田委員	くんち広場、出し物展示場	駐車場、地下駐車場	バスセンター、バスターミナル	イベントスペース	伝統芸能資料館、伝統工芸館	複合文化施設(音楽、演劇、美術、映像等)	国際的な機関	大学・学校	美術と文化の発信拠点	地下道

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能					
1 阿野委員	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場	バスセンター、バスターミナル	行政窓口	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)
2 荒木委員		歴史公園、史跡公園	駐車場、地下駐車場	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	県民交流センター	
3 犬塚委員		駐車場、地下駐車場					
4 片岡委員		観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	離島の魅力を伝える施設	コトハジメ館			
5 菊森委員		駐車場、地下駐車場	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)				駐車場、地下駐車場・・・(6) 観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊・・・)(3) 展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)・・・(3) 歴史公園、史跡公園・・・(3) バスセンター、バスターミナル・・・(2) イベントスペース・・・(2) 特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)・・・(2)
6 菅原委員		観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点				
7 本馬委員			展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	歴史をバーチャル復元(西役所等)		
8 岩橋委員	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場	歴史公園、史跡公園	バスセンター、バスターミナル	大学・学校		
9 竹本委員		長崎奉行所西役所(復元)	駐車場、地下駐車場	歴史公園、史跡公園	イベントスペース	くunchi広場、出し物展示場	

提案委員	区分	この区分に関連する機能					
1 阿野委員	バスセンター、バスターミナル	駐車場、地下駐車場	県の観光・歴史文化の情報拠点	行政窓口	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)
2 本馬委員		駐車場、地下駐車場					
3 村木委員		観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)			
4 岩橋委員	バスセンター、バスターミナル	駐車場、地下駐車場	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	大学・学校		
5 菅原委員		駐車場、地下駐車場					駐車場、地下駐車場・・・(4) 県の観光・歴史文化の情報拠点・・・(2) 観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)・・・(2) イベントスペース・・・(2) 特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)・・・(2)
6 服部委員		観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)					

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能									
1 阿野委員	駐車場、地下駐車場	県の観光・歴史文化の情報拠点	バスセンター、バスターミナル	行政窓口	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)				
2 岩橋委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	バスセンター、バスターミナル	大学・学校						
3 菅原委員		バスセンター、バスターミナル									
4 荒木委員	駐車場、地下駐車場	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	県民交流センター					
5 犬塚委員		公園・広場	世界遺産館	県の観光・歴史文化の情報拠点…(5) イベントスペース…(4) 歴史公園、史跡公園…(4) バスセンター、バスターミナル…(4) 展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)…(4) くんち広場、出し物展示場…(3) 特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)…(3) 飲食店、カフェ、レストラン…(2) 多目的ホール(中小コンベンション機能含む)…(2) 世界遺産館…(2)							
6 菊森委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)								
7 菊森委員		世界遺産館	くんち広場、出し物展示場						特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)		
8 菊森委員		多目的ホール(中小コンベンション機能含む)	イベントスペース						飲食店、カフェ、レストラン	人材育成施設	
9 竹本委員		長崎奉行所西役所(復元)	県の観光・歴史文化の情報拠点						歴史公園、史跡公園	くんち広場、出し物展示場	イベントスペース
10 竹本委員		ランドマークタワー、シンボルタワー	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)								
11 馬場委員	駐車場、地下駐車場	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	歴史公園、史跡公園						石垣復元	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)
12 福田委員	駐車場、地下駐車場	くんち広場、出し物展示場	劇場(演劇)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)						
13 本馬委員	駐車場、地下駐車場	バスセンター、バスターミナル									

提案委員	区分	この区分に関連する機能					
1 犬塚委員	長崎奉行所西役所(復元)	歴史系の資料館・博物館	岬の教会(復元)				
2 竹本委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	くんち広場、出し物展示場	イベントスペース	駐車場、地下駐車場	
3 片岡委員	長崎奉行所西役所(復元)	埋蔵文化財展示施設	長崎県の代表的な歴史人物の群像	岬の教会(復元)	岬の教会(復元)…(2)		

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能	
1 犬塚委員	防災センター、防災広場・緊急避難所	- くunch広場、出し物展示場	行政窓口
2 菅原委員			

提案委員	区分	この区分に関連する機能				
1 岩橋委員	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	- ランドマークタワー、シンボルタワー	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	くunch広場、出し物展示場	飲食店、カフェ、レストラン	
2 服部委員		- バスセンター、バスターミナル				
3 荒木委員	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	- 県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	駐車場、地下駐車場	県民交流センター
4 片岡委員		- 県の観光・歴史文化の情報拠点	離島の魅力を伝える施設	コトハジメ館		
5 菅原委員		- 県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点			
6 村木委員		- バスセンター、バスターミナル	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)		

県の観光・歴史文化の情報拠点・・・(3)
 展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)・・・(2)
 バスセンター、バスターミナル)・・・(2)

提案委員	区分	この区分に関連する機能		
1 片岡委員	ランドマークタワー、シンボルタワー	- 展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)		
2 竹本委員		- 駐車場、地下駐車場		
3 岩橋委員	ランドマークタワー、シンボルタワー	- 観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	くunch広場、出し物展示場 飲食店、カフェ、レストラン

展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)・・・(2)

提案委員	区分	この区分に関連する機能					
1 服部委員	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	- 県民交流センター	国際的な機関				
2 馬場委員		- 歴史公園、史跡公園	駐車場、地下駐車場	石垣復元	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	飲食店、カフェ、レストラン
3 菅原委員	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	- 県の観光・歴史文化の情報拠点	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)				

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1 福田委員	くunch広場、出し物展示場	劇場(演劇)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	駐車場、地下駐車場	青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)
2 本馬委員		伝統芸能資料館、伝統工芸館	体験型観光集客施設		
3 岩橋委員	くunch広場、出し物展示場	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	ランドマークタワー、シンボルタワー	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	飲食店、カフェ、レストラン
4 菊森委員		世界遺産館	駐車場、地下駐車場	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	

展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)・・・(2)
 駐車場、地下駐車場・・・(2)

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1 本馬委員	くunch広場、出し物展示場 伝統芸能資料館、伝統工芸館	くunch広場、出し物展示場	体験型観光集客施設		
2 村木委員		くunch広場、出し物展示場			

くunch広場、出し物展示場)・・・(2)

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1 菊森委員	世界遺産館	駐車場、地下駐車場	くunch広場、出し物展示場	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	
2 犬塚委員	世界遺産館	公園・広場	駐車場、地下駐車場		

駐車場、地下駐車場・・・(2)

提案委員	区分	この区分に関連する機能					
1 菊森委員	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)	駐車場、地下駐車場	イベントスペース	飲食店、カフェ、レストラン	人材育成施設		
2 阿野委員	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)	県の観光・歴史文化の情報拠点	バスセンター、バスターミナル	行政窓口	駐車場、地下駐車場	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)

駐車場、地下駐車場・・・(2)
 イベントスペース・・・(2)

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1 菅原委員	歴史系の資料館・博物館				
2 犬塚委員	歴史系の資料館・博物館	長崎奉行所西役所(復元)	岬の教会(復元)		

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1 服部委員	インキュベーション(起業支援)施設	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)			

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1 福田委員	劇場(演劇)	くunch広場、出し物展示場	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	駐車場、地下駐車場	青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)
2 村木委員	劇場(演劇)	複合文化施設(音楽、演劇、美術、映像等)	コンサートホール(音楽)	青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)	青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)・・・(2)

提案委員	区分	この区分に関連する機能					
1 阿野委員	行政窓口	県の観光・歴史文化の情報拠点	バスセンター、バスターミナル	駐車場、地下駐車場	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)
2 菅原委員	行政窓口	防災センター、防災広場・緊急避難所	くunch広場、出し物展示場				

提案委員	区分	この区分に関連する機能					
1 犬塚委員	公園・広場	駐車場、地下駐車場	世界遺産館				

提案委員	区分	この区分に関連する機能					
1 片岡委員	長崎県の代表的な歴史人物の群像	長崎奉行所西役所(復元)	埋蔵文化財展示施設	岬の教会(復元)			

提案委員	区分	この区分に関連する機能					
1 荒木委員	歴史公園、史跡公園	県の観光・歴史文化の情報拠点	観光の出入口となる拠点(まずここにきてそこから回遊)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	駐車場、地下駐車場	県民交流センター	
2 岩橋委員		駐車場、地下駐車場	県の観光・歴史文化の情報拠点	バスセンター、バスターミナル	大学・学校		
3 馬場委員	歴史公園、史跡公園	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	駐車場、地下駐車場	石垣復元	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	飲食店、カフェ、レストラン
4 竹本委員		長崎奉行所西役所(復元)	県の観光・歴史文化の情報拠点	くunch広場、出し物展示場	イベントスペース	駐車場、地下駐車場	

駐車場、地下駐車場・・・(4)
 県の観光・歴史文化の情報拠点・・・(3)
 イベントスペース・・・(2)

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能		
1 村木委員	複合文化施設 (音楽、演劇、美術、映像等)	コンサートホール (音楽)	劇場(演劇)	青少年センター (青少年の学習 機会・自主活動 の場を提供)

提案委員	区分	この区分に関連する機能				
1 荒木委員	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	駐車場、地下駐車場	県民交流センター
2 岩橋委員		観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	ランドマークタワー、シンボルタワー	くunchi広場、出し物展示場	飲食店、カフェ、レストラン	
3 片岡委員		ランドマークタワー、シンボルタワー				
4 菊森委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場			
5 竹本委員		ランドマークタワー、シンボルタワー	駐車場、地下駐車場			
6 福田委員		くunchi広場、出し物展示場	劇場(演劇)	駐車場、地下駐車場	青少年センター (青少年の学習機会・自主活動の場を提供)	
7 本馬委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史をバーチャル復元(西役所等)	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)		

駐車場、地下駐車場・・・(4)
 観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊・・・(2)
 県の観光・歴史文化の情報拠点・・・(3)
 ランドマークタワー、シンボルタワー・・・(3)
 くunchi広場、出し物展示場)・・・(2)

提案委員	区分	この区分に関連する機能					
1 阿野委員	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	県の観光・歴史文化の情報拠点	バスセンター、バスターミナル	行政窓口	駐車場、地下駐車場	イベントスペース	多目的ホール (中小コンベンション機能含む)
2 菊森委員		世界遺産館	くunchi広場、出し物展示場	駐車場、地下駐車場			
3 服部委員		インキュベーション(起業支援)施設					
4 馬場委員		歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	歴史公園、史跡公園	駐車場、地下駐車場	石垣復元	イベントスペース	飲食店、カフェ、レストラン
5 本馬委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史をバーチャル復元(西役所等)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)			
6 村木委員		バスセンター、バスターミナル	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	イベントスペース			

駐車場、地下駐車場・・・(3)
 イベントスペース・・・(3)
 県の観光・歴史文化の情報拠点・・・(2)
 バスセンター、バスターミナル・・・(2)

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能					
1 阿野委員	イベントスペース	県の観光・歴史文化の情報拠点	バスセンター、バスターミナル	行政窓口	駐車場、地下駐車場	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)
2 菊森委員		多目的ホール(中小コンベンション機能含む)	駐車場、地下駐車場	飲食店、カフェ、レストラン	人材育成施設		
3 竹本委員		長崎奉行所西役所(復元)	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	くんち広場、出し物展示場	駐車場、地下駐車場	
4 馬場委員		歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	歴史公園、史跡公園	駐車場、地下駐車場	石垣復元	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	飲食店、カフェ、レストラン
5 村木委員		バスセンター、バスターミナル	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	駐車場、地下駐車場・・・(4) 特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)・・・(3) 県の観光・歴史文化の情報拠点・・・(2) 多目的ホール(中小コンベンション機能含む)・・・(2) バスセンター、バスターミナル・・・(2) 飲食店、カフェ、レストラン・・・(2) 歴史公園、史跡公園・・・(2)		

提案委員	区分	この区分に関連する機能				
1 菅原委員	くんち広場、出し物展示場	防災センター、防災広場・緊急避難所	行政窓口			
2 竹本委員		長崎奉行所西役所(復元)	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	イベントスペース	駐車場、地下駐車場
3 村木委員		伝統芸能資料館、伝統工芸館				

提案委員	区分	この区分に関連する機能					
1 岩橋委員	飲食店、カフェ、レストラン	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	ランドマークタワー、シンボルタワー	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	くんち広場、出し物展示場		
2 菊森委員		多目的ホール(中小コンベンション機能含む)	イベントスペース	駐車場、地下駐車場	人材育成施設		
3 馬場委員		歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	歴史公園、史跡公園	駐車場、地下駐車場	石垣復元	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)

駐車場、地下駐車場・・・(2)
イベントスペース・・・(2)

提案委員	区分	この区分に関連する機能				
1 荒木委員	県民交流センター	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	駐車場、地下駐車場
2 服部委員		歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	国際的な機関			

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能		
1 犬塚委員	岬の教会(復元)	長崎奉行所西役所(復元)	歴史系の資料館・博物館	
2 片岡委員		長崎県の代表的な歴史人物の群像	埋蔵文化財展示施設	長崎奉行所西役所(復元)

提案委員	区分	この区分に関連する機能		
1 福田委員	青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)	くち広場、出し物展示場	劇場(演劇)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)
2 村木委員		複合文化施設(音楽、演劇、美術、映像等)	コンサートホール(音楽)	劇場(演劇)

駐車場、地下駐車場

劇場(演劇)・・・(2)

提案委員	区分	この区分に関連する機能		
1 岩橋委員	大学・学校	駐車場、地下駐車場	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園

バスセンター、バスターミナル

提案委員	区分	この区分に関連する機能		
1 片岡委員	埋蔵文化財展示施設	長崎県の代表的な歴史人物の群像	長崎奉行所西役所(復元)	岬の教会(復元)

提案委員	区分	この区分に関連する機能		
1 片岡委員	離島の魅力を伝える施設	県の観光・歴史文化の情報拠点	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	コトハジメ館

提案委員	区分	この区分に関連する機能		
1 片岡委員	コトハジメ館	県の観光・歴史文化の情報拠点	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	離島の魅力を伝える施設

提案委員	区分	この区分に関連する機能		
1 菊森委員	人材育成施設	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)	イベントスペース	駐車場、地下駐車場

飲食店、カフェ、レストラン

提案委員	区分	この区分に関連する機能		
1 服部委員	国際的な機関	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	県民交流センター	

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能						
1 馬場委員	石垣復元	-	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	歴史公園、史跡公園	駐車場、地下駐車場	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	飲食店、カフェ、レストラン

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1 本馬委員	歴史をバーチャル復元(西役所等)	-	県の観光・歴史文化の情報拠点	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)

提案委員	区分	この区分に関連する機能		
1 本馬委員	体験型観光集客施設	-	伝統芸能資料館、伝統工芸館	くんち広場、出し物展示場

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1 村木委員	コンサートホール(音楽)	-	複合文化施設(音楽、演劇、美術、映像等)	劇場(演劇)	青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)